

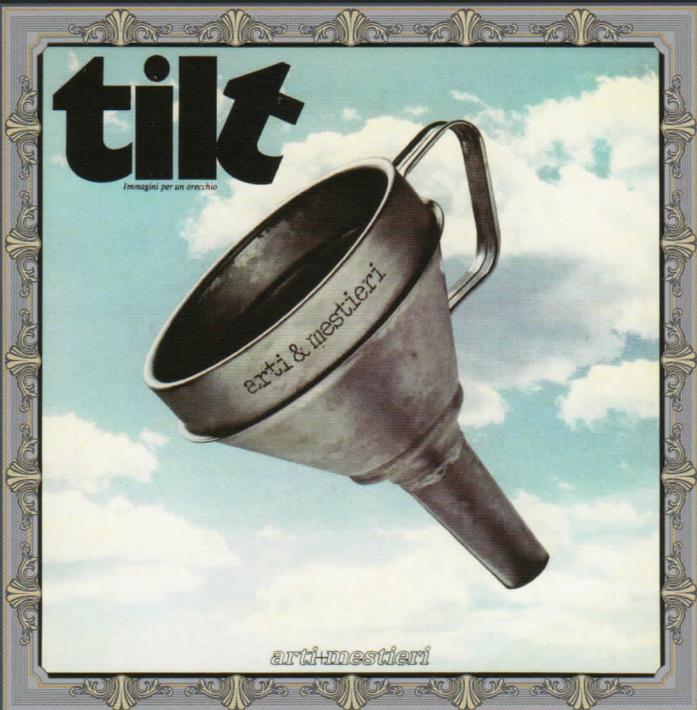


ITALIAN  
PROGRESSIVE ROCK  
FESTIVAL  
Autumn to Spring Vol.1

イタリアン  
プログレッシヴ・ロック  
フェスティバル

秋の陣 2011: 夢のまた夢

PFM 2011年11月  
4 [Fri], 5 [Sat], 6 [Sun], 7 [Mon]  
OSANNA CLUB CITTA'  
GOBLIN PFM  
ARTI & MESTIERI オザンナ  
THE TRIP ゴブリン  
IL BALLETO DI BRONZO アルティ・エ・メステリエリ  
トリップ  
イル・バレット・デ・ブロンゾ



# PFM



映像と音楽を融合させた最新スタジオ・アルバム『Stati Di Immaginazione』の再現や、「人生は川のようなもの」「甦る世界」「原始への回帰」など、彼らの代表曲とクラシックの名曲をオーケストラと演奏するという、かつてないほどPFMの魅力のすべてを詰め込んだ壮大なステージ。

70年に結成されたイタリア、ミラノ出身のグループ。72年、アルバム『幻想物語』でデビューを果たす。同72年のセカンド・アルバム『友よ』発表前後にEL&Pのイタリア公演の前座を務めたことをきっかけに、キング・クリムゾンを退いたビート・シンフィードルに見出され、73年、EL&Pが設立したレーベル、マンティコからアルバム『幻の映像』で世界デビューを飾った。彼らの世界的な成功によって、その後イタリアのロック・バンドが次々と紹介され、特に日本では、70年代後期からイ

タリアン・ロック・ブームが起こった。2002年には、75年以来27年ぶりとなる来日公演を行ない、健在ぶりをアピール。05年には初のロック・オペラに挑戦した『DRACULA』を発表。06年には『Stati Di Immaginazione』で映像と一体化したアルバムに挑戦している。イタリアン・プログレッシヴ・ロック・フェスティヴァル・秋の陣2011では映像を駆使したステージに加え、オーケストラを率いてクラシックの有名曲と自身の代表曲を演奏予定。

Franz Di Cioccio [Ds, Vo]  
Franco Mussida [G, Vo]  
Patric Djivas [B]  
Lucio Fabbri [Violin]  
Gian Luca Tagliavini [Key]  
Roberto Gualdi [Ds]

# OSANNA



ニュー・トロルス『コンチェルト・グロッソ』、RDM『汚染された世界』と並び、イタリアの三大クラシカル・ロックと称される名作『ミラノ・カリプロ9』がなんと、オーケストラをバックに再現される!! イタリアでも行なわれることのない試みを日本で初めて挑戦。このライブを観ずにイタリアン・ロックは決して語ることはできない。ファン必聴&必見の奇跡のパフォーマンス。

PFM、ニュー・トロルス、バンコなどと並んでイタリアを代表するプログレッシヴ・ロック・グループがオザンナだ。71年、チッタ・フロンターレを母体にダニロ・ルスティチ(g)とエリオ・ダーナ(sax, flute)を中心にナポリで結成。同年アルバム『L' UOMO』でデビューを飾った。72年にはルイス・エンリケス・パカロフとオーケストラを使用した名作『ミラノ・カリプロ9』を制作し大きな話題となる。73年にはキング・クリムゾンを彷彿とさせる暗黒的な作品『パレオ』を発表した。

その後『ランド・スケープ・オブ・ライフ』(74年)、『スダンス/南の踊り』(78年)を残し、78年に解散。以降、チッタ・フロンターレ、ウーノ、チェルヴェッロ、ノヴァ、ルーナなどのグループによってオザンナのDNAが受け継がれ、いずれのグループもオリエティの高いアルバムを残している。2000年になって、ヴォーカルのリノ・ヴァイレッティを中心に再結成されたオザンナは、『TAKA BOOM』(01年)『PROG FAMILY』(08年)のリリースを経、09年には待望の初来日を果たした。

Lino Vairetti [Vo, Flute]  
Irvin Vairetti [Key]  
Salvatore Priore [Key]  
Pasquale Capobianco [G]  
Ariello D'Anna [B]  
Mariano Barba [Ds]

# GOBLIN



恐怖映画のサウンドトラックで世界的な成功を取めたグループ、ゴブリンのステージは『サスペリア』『サスペリア2』『ゾンビ』などの代表作からの選曲によるベスト・オブ・ゴブリン。ゴシック&ダーク・シンフォニック・プログレの第一人者による待望のライブ。

ホラー映画監督ダリオ・アルジェントの作品で一世を風靡したゴブリンは数多くのホラー映画のサウンドトラックを手がけ、後世に多大な影響を与えたバンドだ。その意味からすると、イタリアで世界的に最も成功したグループと言ってもいいだろう。75年のデビュー作『赤い深淵〜サスペリア2』は56週間チャートのトップとなる大ヒットとなり、その後も『サスペリア』『ゾンビ』『シャドウ』など話題作を連発。しかし2000年の『沈黙』を最後にバンドは解散状態となる。一方では『ローラー』など

優れたプログレ作品も発表。2010年クラウディオ・シモネッティ、マッシモ・モランテ、マウリツィオ・グリアーニを中心にゴブリンが再結成される。今回のステージは、プログレ・ファン必聴の『ローラー』や『マークの幻想の旅』からの曲を始め、『赤い深淵〜サスペリア2』『サスペリア』『シャドウ』『フェノミナ』『ゾンビ』などのヒット曲を網羅したベスト・オブ・ゴブリン。ゴシック&ダーク・シンフォニック・ピアノニアが放つライブ・パフォーマンスは多方面からも注目されること必至だ。

Claudio Simonetti [Key]  
Massio Morante [G]  
Maurizio Guarini [Key]  
Bruno Previtali [G]  
Titta Tani [Ds]

# ARTI & MESTIERI



オリジナル・ギタリスト、ジジ・ベネゴニーの参加による日本特別編成でのライブ。ジャズを基調としたイタリアン・ロックの最高峰、アルティ&メスティエリが名作『ティルト』を中心のベスト・ライブを披露。超怒級テクニカル・チューン「重力9.81」はファン垂涎の一曲。

イタリアン・ジャズ・ロック/プログレの最高峰アルティ・エ・メスティエリは、トリップを脱退した超絶ドラマー、フリオ・キリコが、卓越したテクニックを表現し得る高度な楽曲と強固なオリジナル리티を兼ね備えたバンド結成を目論み、ジジ・ヴェネゴニー(g)、ベッペ・クロヴェッラ(key)らと結成したバンド。74年に『ティルト』、75年に『明日へのワルツ』をクランプスよりリリース。78年に一旦解散すると89年にオリジナル・メンバーに近い布陣で再

結成し、復活を印象づける傑作『ムラレス』を発表した。しかし03年にオリジナル・ギタリストのジジ・ベネゴニーらが脱退、メンバー・チェンジを経て05年に待望の初来日を果たす。2010年に再始動した彼らはジジ・ヴェネゴニーを再び迎えて6年ぶりとなる来日を果たす。ジジの加入した編成は、今回だけの日本特別編成。名盤『ティルト』を中心に、『明日へのワルツ』、復活作『ムラレス』からの曲を演奏予定。

Furio Chirico [Ds]  
Gigi Venegoni [G]  
Beppe Crovella [Key]  
Marco Roagna [G]  
Roberto Puggioni [B]  
Iano Nicolò [Vo]

# THE TRIP



イタリアン・ロック・シーンの黎明期に産声を上げた幻のグループの初来日公演。イタリアのEL&Pといわれたアグレッシヴかつドラマティックなサウンドの再現に期待が高まる。名作『アトランティエデ』『カロンテ』のナンバーを演奏。テクニカルなイタリアン・ロック日本初お目見えに期待は高まる。

ザ・トリップはロンドンで結成され、当初リッチー・ブラッドモアも在籍していたことでも知られるグループ。その後イタリアへ渡り、ヴェッガ・アンダーセン(b)、ジョー・ヴェスコヴィ(key)を中心に70年にアルバム『ザ・トリップ』、71年に『カロンテ』を発表。ギターやハモンド・オルガンを中心にソウキ色を残したヘヴィ・プログレを聴かせた。のちにアルティ・エ・メスティエリで活躍するフリオ・キリコが加入した『アトランティエデ』(72年)ではクラシカルなキー

ボードと手数の多いテクニカルなドラムによるEL&Pスタイルのプログレを披露。73年にも同傾向の『タイム・オブ・チェンジ』を発表した。しかしキリコの脱退、アンダーセンの交通事故によりバンドは解散。昨2010年、全盛期のメンバーで奇跡の再結成ライブが行なわれた。今回の初来日は、ジョー・ヴェスコヴィ(key)、フリオ・キリコ(ds)、ヴェッガ・アンダーセン(vo)を中心とした編成。『アトランティエデ』や『カロンテ』を中心に彼らの代表曲を演奏する予定だ。

Joe Vescovi [Key]  
Arvid Wegg Andersen [Vo]  
Furio Chirico [Ds]  
Fabri Chiarelli [G]  
Angelo Perini [B]

# IL BALLETO DI BRONZO



イタリアのプログレッシヴ・ロック・アルバムの中で常にベスト10に入る人気を誇るアルバム『YS(イプシロン・エッセ)』を中心としたステージは、もちろん本邦初。神秘的な雰囲気を持つダーク&ゴシック・ヘヴィ・プログレ・サウンドが炸裂するステージは伝説となるか!!

イル・バレット・ディ・ブロンゾは69年にナポリで結成されたハード・ロック・スタイルのグループ。70年、ファースト『シリウス2222』発表後、一旦解散状態となる。しかしオザンナの前身、チッタ・フロンターレのメンバーだったジャンニ・レオーネ(key)を迎え、ローマへ活動拠点を移し、よりプログレッシヴな方向性を突き詰めた『YS(イプシロン・エッセ)』を72年にリリース。メロトロンやオルガンを駆使したレオーネの退場的なキーボードとヘヴィなギターを中心

に、変拍子と複雑な曲展開を怒濤のように畳みかける演奏を聴かせ、イタリアン・ヘヴィ・プログレの傑作としてとりわけ高い人気を誇るアルバムとなった。この後、メンバーの脱退により解散。96年には再結成アルバムを発表。イル・バレット・ディ・ブロンゾ名義での来日は、07年にマルコ・カボズイ(b)、アドルフ・ラムンド(ds)らと再々結成したトリオ編成で、名盤『YS(イプシロン・エッセ)』を中心としたステージを予定している。

Gianni Leone [Vo, Key]  
Adolfo Ramundo [Ds]  
Ivano Salvatori [B]

# 今世紀最大のイタリアン・プログレッシヴ・ロック・フェスティバル開催決定!!

初めてイタリアのプログレッシヴ・ロックを聴いたとき、世の中にこんなにも美しくドラマティックな音楽があるのかと感じたリスナーは多いはずだ。当時、それまで英国を中心としたプログレッシヴ・ロックに感動していたファンは、ロック・ミュージックにとって未知の国だったイタリアに、英米に勝るとも劣ることのないグループが数多く存在することを知った。その時の衝撃は、30年以上を経た今でも少しも薄れてはいない。特に日本は他国に比べて早くからイタリアのプログレッシヴ・ロックに親しんだ国だ。それだけでなく、日本に紹介された多くの名作は、日本を通じて世界的に知られることになった。日本でプレスされ、再度海を渡ったイタリアン・ロックの名盤は、今、世界的に注目を浴びている。そうしたことから、イタリアのプログレッシヴ・ロックにとって日本は第2の母国であるというアーティストは少なくない。そんな国——大海を隔てた遠い東の国に、イタリア統一150周年を迎えた年に彼らがやってくる。イタリアのプログレッシヴ・ロック・グループが大挙してやってくるのだ。まさに夢のまた夢。ファンの多くが想像することさえなかったイタリアン・プログレッシヴ・ロックのフェスティバルがこの秋、日本の地で現実のものとなるのだ。今世紀最初で最後にして最大のイタリアン・プログレッシヴ・ロックの祭典を見逃すな!! 真の奇跡を見逃すな!!

ストレンジ・デイズ 岩本晃市郎



11/4 (金)  
CLUB CITTA'  
開場 / 18:00  
開演 / 19:00

PFM +

THE TRIP  
GOBLIN

◆ 前売り料金 ◆  
1階S席 ¥14,800  
1階A席 ¥13,500  
2階SA席 ¥13,800  
※消費税込/オーダー別  
全席指定/限定600席

11/5 (土)  
CLUB CITTA'  
開場 / 17:00  
開演 / 18:00

GOBLIN +

IL BALLETO DI BRONZO  
ARTI & MESTIERI

◆ 前売り料金 ◆  
1階S席 ¥14,800  
1階A席 ¥13,500  
2階SA席 ¥13,800  
※消費税込/オーダー別  
全席指定/限定600席

11/6 (日)  
CLUB CITTA'  
開場 / 17:00  
開演 / 18:00

1部 OSANNA  
(with オーケストラ)  
ミラノ・カリプロ9完全再現+Best

2部 PFM  
(with オーケストラ)  
クラシック & Best

◆ 前売り料金 ◆  
1階S席 ¥17,800  
1階A席 ¥16,500  
2階SA席 ¥16,800  
※消費税込/オーダー別  
全席指定/限定600席

11/7 (月)  
CLUB CITTA'  
開場 / 18:00  
開演 / 19:00

1部 OSANNA  
(with オーケストラ)  
ミラノ・カリプロ9完全再現+Best

2部 PFM  
(with オーケストラ)  
クラシック & Best

◆ 前売り料金 ◆  
1階S席 ¥17,800  
1階A席 ¥16,500  
2階SA席 ¥16,800  
※消費税込/オーダー別  
全席指定/限定600席

【CLUB CITTA' ホームページ先行受付】  
<http://clubcitta.co.jp/ticket.html>  
☆受付期間: ①9月3日(土)~9月8日(木) ※抽選制  
②9月10日(土)~9月15日(木) ※抽選制

【店頭先行販売】9月10日(土)~  
☆ディスクユニオン新宿プログレッシヴ・ロック館 03-3352-2141  
☆目白ワールド・ディスク 03-3954-5348

一般発売日: 2011年9月24日(土)  
☆チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 149-495)  
☆ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード: 71593)  
☆イープラス <http://eplus.jp> (問) 0570-06-9911

◆主催: bayfm78「POWER ROCK TODAY」  
◆企画制作: クラブチッタ  
◆招聘: クラブチッタ  
◆後援: イタリア大使館  
イタリア政府観光局(ENIT) イタリア文化会館  
イタリア商工会議所  
◆協力: ストレンジ・デイズ / ディスクユニオン  
◆問い合わせ: CLUB CITTA' 044-246-8888 <http://clubcitta.co.jp>

※入場の際にドリンク代 ¥500が必要となります。  
※出演者に一部変更がある場合がありますので予めご了承ください。